
第2期中期計画の実績の概要

(平成26年4月～平成30年2月)



平成30年4月
地方独立行政法人 神戸市民病院機構

市民病院機構・各病院位置図



※平成30年1月1日現在の人口

神戸市民病院機構について

◆神戸市民病院機構の目的

- ✓ 地方独立行政法人法に基づき、医療の提供、医療に関する調査及び研究並びに技術者の研修等の業務を行うことにより、市民の立場に立った質の高い医療を安全に提供し、もって市民の信頼に応え、市民の生命と健康を守ることを目的とする。

◆概要

項目	
法人名	地方独立行政法人 神戸市民病院機構
所在地	神戸市中央区港島南町2丁目2番地
設立年月日	平成21年4月1日
役員数	13名（平成30年4月1日時点）
職員数	3,035名（平成30年2月1日時点）

◆役員名簿（平成30年4月1日時点）

役職		氏名	備考
理事長	常勤	橋本 信夫	
理事	常勤	細谷 亮	中央市民病院長
理事	常勤	有井 滋樹	西市民病院長
理事	常勤	田中 修	西神戸医療センター院長
理事	常勤	栗本 康夫	神戸アイセンター病院長
理事	常勤	久戸瀬 修次	法人本部長
理事	非常勤	湊 長博	京都大学理事・副学長
理事	非常勤	守殿 貞夫	西宮敬愛会病院長
理事	非常勤	村上 雅義	神戸医療産業都市推進機構専務理事
理事	非常勤	鈴木 志津枝	神戸市看護大学長
理事	非常勤	植村 武雄	小泉製麻株式会社会長・神戸商工会議所副会頭
監事	非常勤	藤原 正廣	弁護士（京町法律事務所）
監事	非常勤	岡村 修	公認会計士・税理士 （岡村修公認会計士税理士事務所）

神戸市立医療センター 中央市民病院

◆病院の特徴と役割

一般病床：688 ICU・CCU：22 感染症：10
SCU：12 HCU：28 MPU：8

- ✓ 救命救急センターとして24時間365日体制での救急医療を提供し、脳卒中や急性心筋梗塞、交通外傷等、生命に関わるような重篤な患者を中心に、幅広く患者を受入れる。
- ✓ 地域医療支援病院として地域医療連携の推進に取り組むとともに、高度医療機器の導入等を必要に応じて行い、神戸市全域の基幹病院として専門性の高い高度な医療の提供を行う。



地域医療
支援病院

救命救急センター
指定病院

病院機能評価
認定施設

災害拠点病院

地域がん診療
連携拠点病院

第一種感染症
指定病院

総合周産期母子
医療センター

◆基本理念

神戸市立医療センター中央市民病院は、神戸市の基幹病院として、市民の生命と健康を守るため、患者中心の質の高い医療を安全に提供します。

◆基本方針

- ①患者の生命の尊厳と人権を尊重します。
- ②十分な説明に基づき、満足と信頼が得られる医療を安全に提供します。
- ③基幹病院としての機能を果たすため、高度・先端医療に取り組みます。
- ④24時間体制での救急医療を実践します。
- ⑤医療水準の向上を目指し、職員の研修・教育・研究の充実を図ります。
- ⑥地域の医療・保健・福祉機関との相互連携を進めます。

◆診療科

循環器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、神経内科、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、総合内科、感染症科、精神・神経科、小児科、新生児科、皮膚科、外科・移植外科、乳腺外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、麻酔科、歯科・歯科口腔外科、病理診断科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、救急部

神戸市立医療センター 西市民病院

◆病院の特徴と役割

一般病床：353（うち、地域包括ケア病床：37） ICU・CCU：5

- ✓ 市街地西部（兵庫区、長田区、須磨区）の中核病院として、高水準の標準的医療を提供するとともに、内科系・外科系の24時間365日の救急医療体制を継続し、地域住民が安心して暮らせる救急医療の提供を行う。
- ✓ 地域医療支援病院として、近隣の関連機関と緊密な連携を図り、医療と福祉・介護の架橋となるべく、在宅医療を強化する。



地域医療
支援病院

病院機能評価
認定施設

がん診療連携拠点
病院に準じる病院

◆基本理念

神戸市立医療センター西市民病院は、地域の中核病院として、市民の生命と健康を守るために、安全で質の高い心のこもった医療を提供します。

◆基本方針

- ①患者の人権を尊重し、患者中心のチーム医療を推進します。
- ②安全管理を徹底し、患者に満足される医療を提供します。
- ③救急医療の充実を図り、災害時の医療にも備えます。
- ④市民病院群の連携を図り、高度・専門医療を充実させ、急性期病院を維持します。
- ⑤地域社会との連携を強化し、在宅医療を支援します。
- ⑥医療従事者の職務の研鑽を深め、医療水準の向上に努めます。
- ⑦職員の経営参画意識を高め、病院の健全な財政運営に努めます。

◆診療科

消化器内科、呼吸器内科、血液内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、神経内科、リウマチ・膠原病内科、総合内科、臨床腫瘍科、精神・神経科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、血管外科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、麻酔科、放射線科、病理診断科

神戸市立西神戸医療センター

◆病院の特徴と役割

一般病床：415 ICU・CCU：10 結核病床：50

- ✓ 神戸西地域（西区・垂水区・須磨区）に根付いた安心・安全な医療をめざすことを理念とし、神戸西地域の中核病院として、救急医療、高度専門医療、結核医療を安定的・持続的に促進する。
- ✓ 地域連携を促進し、地域完結型医療を目指す。



地域医療
支援病院

病院機能評価
認定施設

地域がん診療
連携拠点病院

◆基本理念

神戸西地域
に根付いた
安心・安全な
医療をめざし
ます。

◆基本方針

- ① 急性期病院として、マンパワーや設備のさらなる強化に努め、救急医療や高度専門医療を充実させることで地域住民の期待に応えます
- ② 市民病院として、結核医療や災害時の医療に対応します
- ③ 地域の中核病院として、地域連携を促進し、地域完結型医療をめざします
- ④ 市民の命と健康を守るため、市民病院間相互の協力連携を推進します
- ⑤ 患者さんを中心としたチーム医療を行うとともに、患者さんや家族に対して誠実な態度で接します
- ⑥ 患者さんが納得できるわかりやすい説明を心がけ、患者さんや家族の自己決定権を尊重します
- ⑦ 職員が相互に協力し合い、常に改善を心がけ、医療水準・職場環境・経営体制すべてにおいてさらに誇れる病院を確立します

◆診療科

神経内科、腎臓内科、内分泌・糖尿病内科、免疫血液内科、腫瘍内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、緩和ケア内科、精神・神経科、形成外科、小児科、外科・消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科、麻酔科

神戸市立神戸アイセンター病院

◆病院の特徴と役割

病床数：30

- ✓ 眼科領域の再生医療分野を中心に、様々な分野での最新の医学研究成果等を取り入れた新しい治療を世界に先駆けて享受できる最先端の高度な眼科病院として、標準医療から最先端の高度医療まで高水準の医療を安定的に提供する。
- ✓ 眼疾患に係る臨床研究及び治験推進の臨床基盤としての役割を果たす。



自立支援医療指定病院
(更生・育成)

特定疾患治療研究
実施医療機関

◆基本理念

神戸市立神戸アイセンター病院は、市民のそして当院を受診する全ての患者さんの眼の健康を守るため、眼科中核病院として標準医療から高度先進医療まで提供するとともに、眼に関するワンストップセンターの核として患者さんの思いを繋げる役割を果たします。

◆基本方針

- ① 安全で質の高い医療を提供し、失明の防止とQOV（見え方の質）の向上につなげます
- ② 世界最先端の高度医療を取り入れ、地域社会・医療機関につなげます
- ③ 医療を通じて、医学研究から生活支援までつなげます
- ④ 患者さんの思いを理解し、希望につなげます
- ⑤ 職種間の一体感を持ち、人が育ち働きがいのある職場づくりにつなげます
- ⑥ 職員一人ひとりが経営感覚をもち、健全な病院運営につなげます
- ⑦ そして、未来につなげます

平成26年

- 4月 ・ 【中央】中央市民病院創立90周年
- 5月 ・ 【中央】第1回がん市民フォーラムの開催（以降、定期開催）
- 6月 ・ 【中央】産科ホットラインの運用を開始
・ 【西】CT増設、検査体制の充実
- 10月 ・ 【中央】小児科ホットラインの運用を開始
- 11月 ・ 【中央】新港島寮の完成

平成27年

- 1月 ・ 【西】神戸市災害対応病院に指定
・ 【西】電子カルテの導入開始
・ 【共通】職員満足度調査の実施
- 2月 ・ 【西】JICA事業の終了（24～26年度：ベトナム・ダナン市への看護研修サポート）
- 3月 ・ 【中央】がんサロンの開催（以降、定期開催）
- 4月 ・ 【西】地域医療在宅支援室の設置
- 5月 ・ 【西】土曜日リハビリテーションを全日実施開始
- 10月 ・ 【西】手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入
・ 【中央／西】医療事故調査制度の開始に伴う対応
- 11月 ・ 【西】小児科輪番回数を月6～8回に増加
- 12月 ・ 【中央】肺がんチームの結成（免疫チェックポイント阻害剤の保険適用に伴う）

平成28年

- 1月 ・ 【西】乳腺外科の新設
- 4月 ・ 【中央／西】熊本地震において、災害時派遣医療チーム（DMAT）の派遣等の被災地支援
・ 【共通】人事評価制度の実施（医師は試行的実施）
- 5月 ・ 【中央】救命救急センター内に第2救急病棟を開設
- 6月 ・ 【西】NPO法人卒後臨床研修評価機構による評価受審。2年間の施設認定を受ける。
- 8月 ・ 【中央】精神科身体合併症病棟（MPU）8床の開設
・ 【中央】研修棟を増築。研修ホール、トレーニングラボなどを開設
- 9月 ・ 【中央】社会保険労務士によるがん患者の仕事と暮らしの相談会を開始
- 10月 ・ 【中央】病児保育室の運用を開始
- 12月 ・ 【中央】施設改修による患者サービスの向上（患者サポートセンターなど）

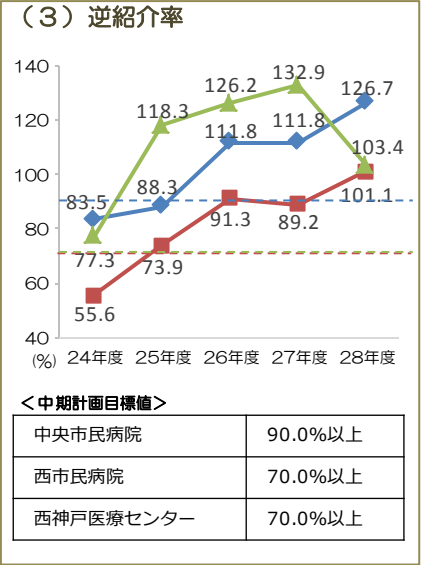
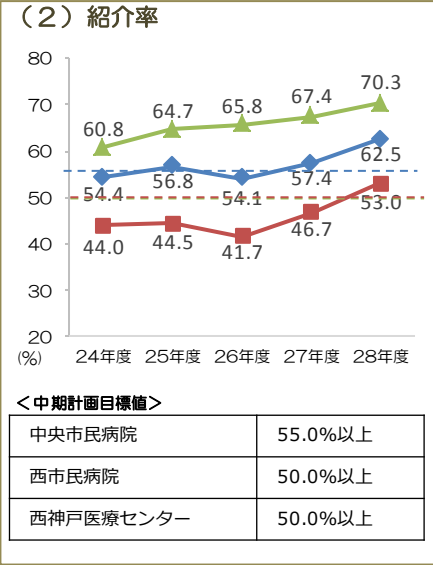
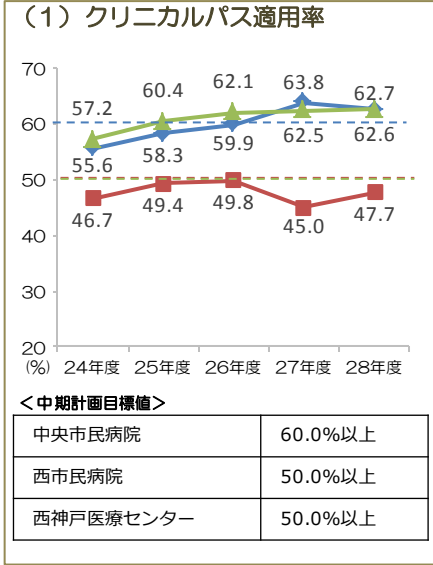
平成29年

- 3月 ・ 【西】東館を増築
・ 【中央】他人のiPS細胞を用いた第1例目の移植手術を実施
- 4月 ・ 【西神戸】西神戸医療センターの市民病院機構への移管
・ 【西】院内保育所の開設
- 7月 ・ 【西】地域包括ケア病棟37床を導入
- 11月 ・ 【中央】先端医療センター病院を中央市民病院に統合
・ 【中央】治験管理センターを改組し、臨床研究推進センターを設置
- 12月 ・ 【アイセンター】神戸アイセンター病院が開院
・ 【中央】全国救命救急センター評価において、4年連続で第1位に選ばれる（26～29年）

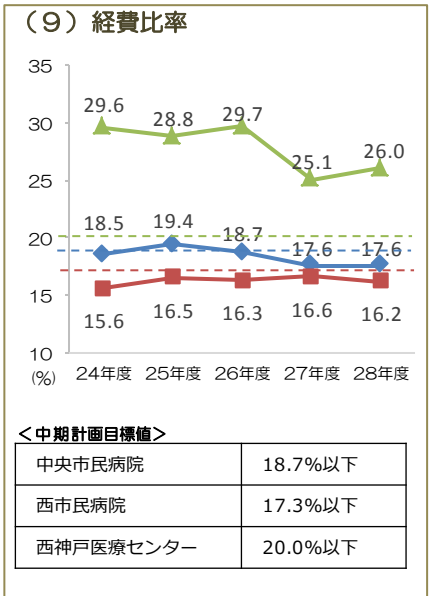
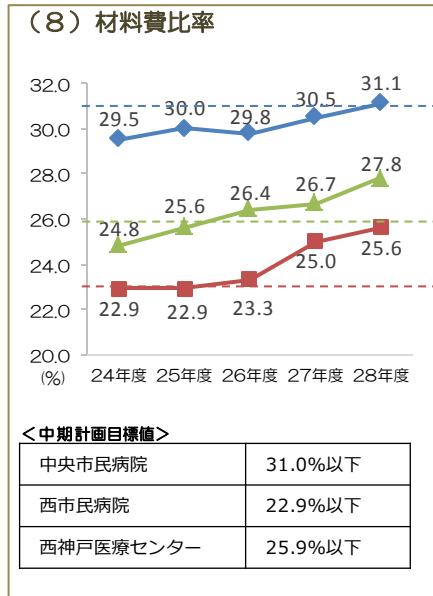
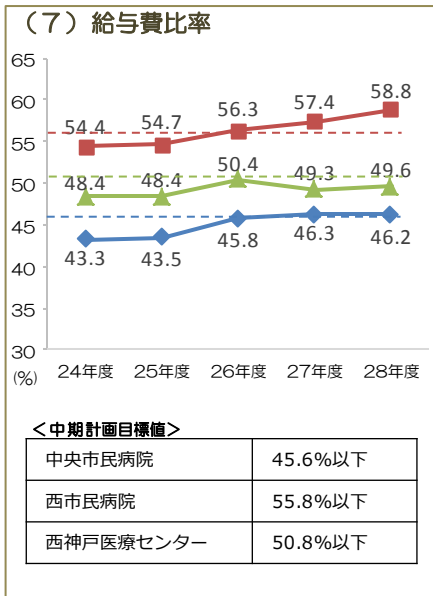
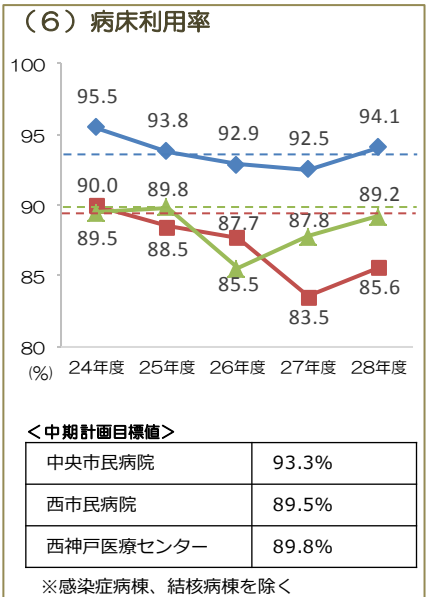
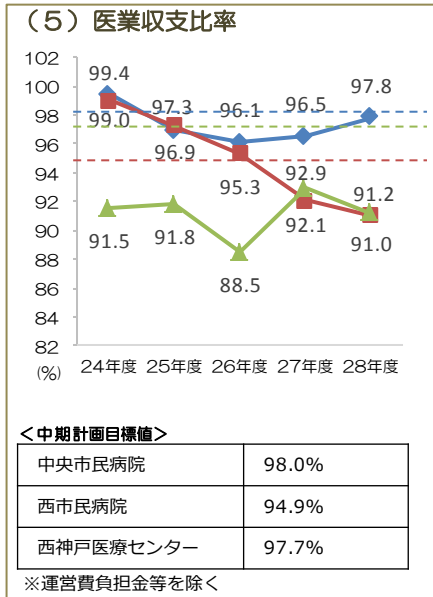
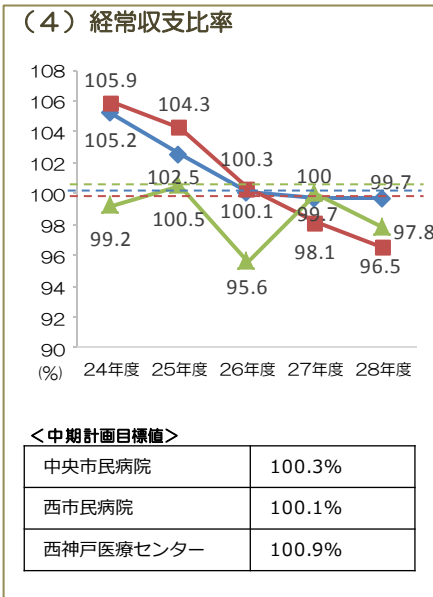
平成30年

- 2月 ・ 【西神戸】PET-CTの運用開始
・ 【共通】第1回4病院合同学術研究フォーラムの開催

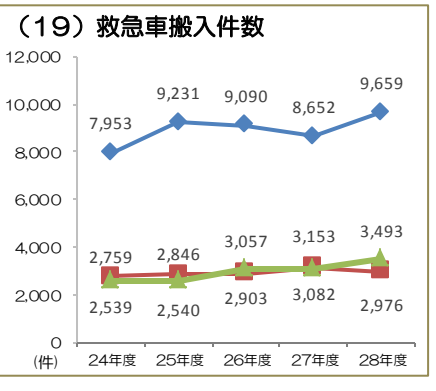
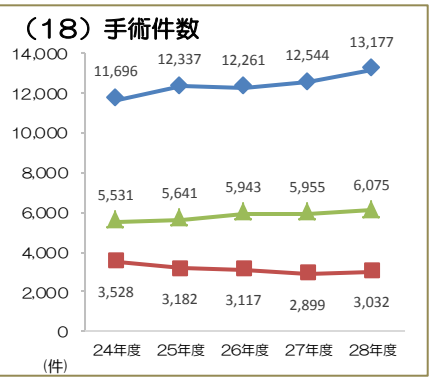
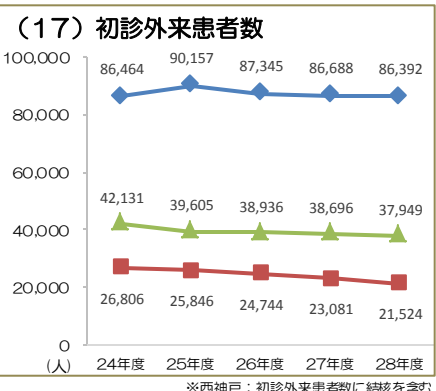
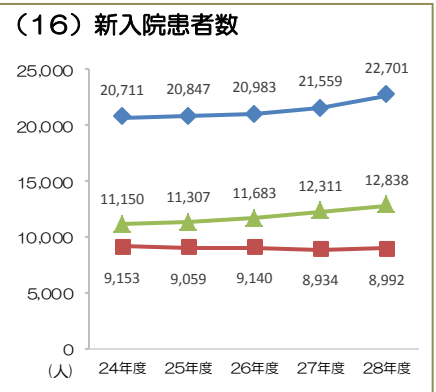
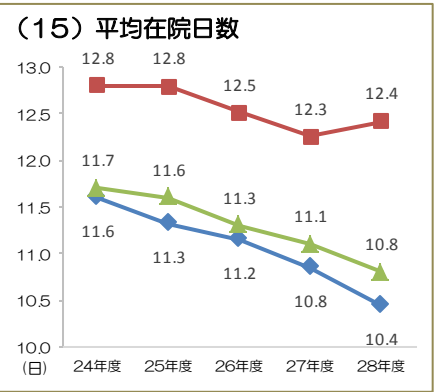
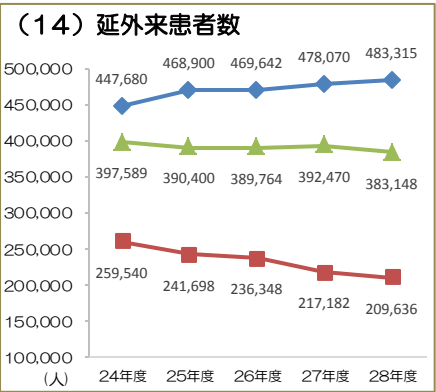
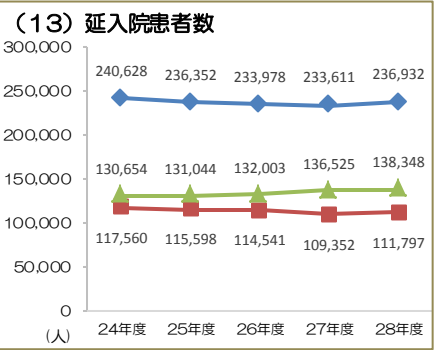
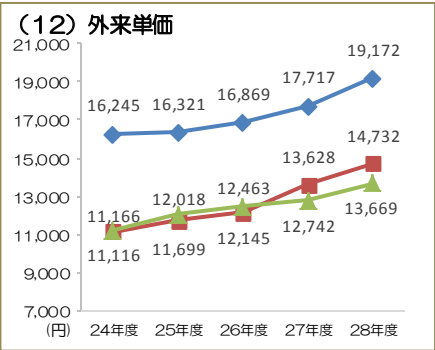
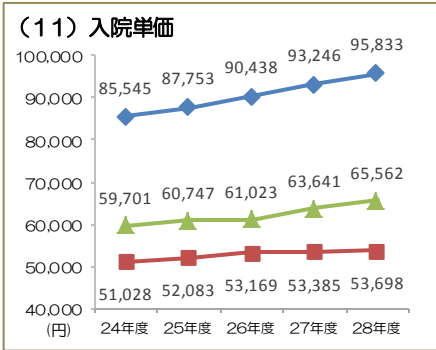
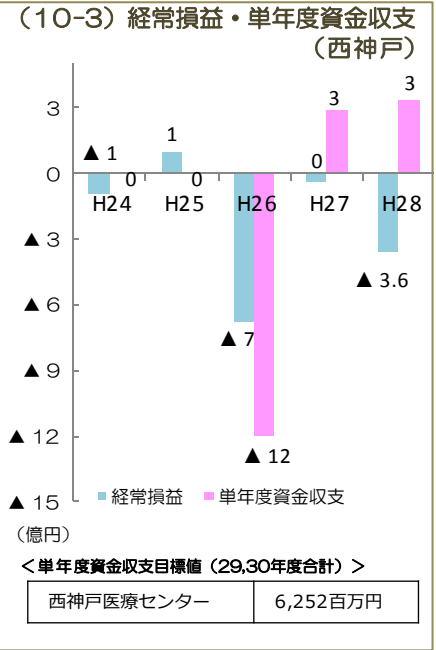
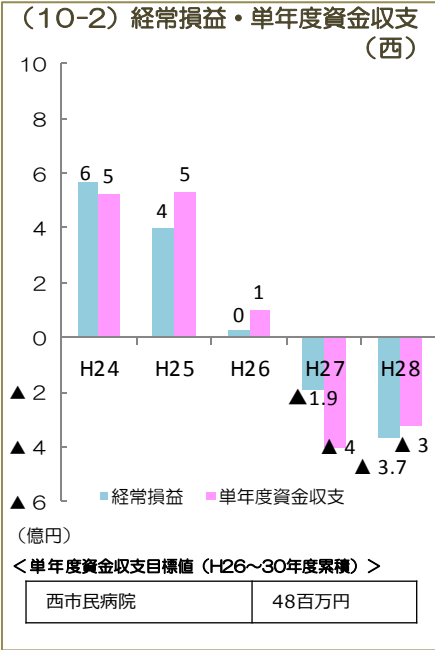
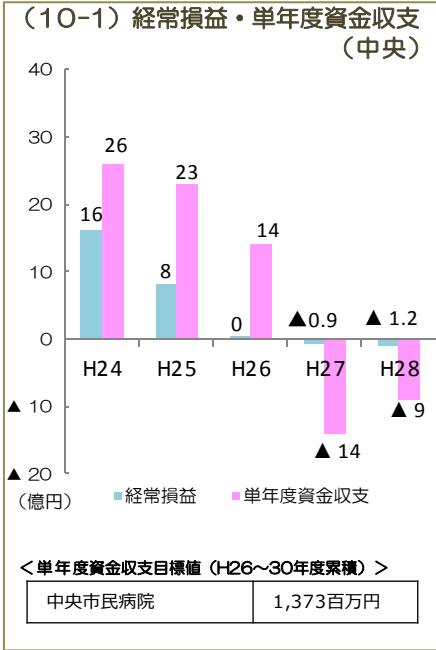
凡例：中央市民病院は ◆、西市民病院は ■、西神戸医療センターは ▲ で表示



※西神戸：平成28年10月より算定方法を変更



※西神戸の主要経営指標は、会計制度が異なるため参考値



凡例：中央市民病院は ◆、西市民病院は ■、西神戸医療センターは ▲ で表示

先端医療センター病院の統合について

- 平成29年11月1日に先端医療センター病院が中央市民病院へ統合しました。
- 先端医療センター病院の医療機能を継承し、増床した60床を含む768床を一体的・効率的に運用することにより救急医療の充実など中央市民病院の機能強化を行いました。
- 先端医療センター病院で実施していた臨床研究・治験も継承。より質の高い最先端・国際水準の臨床研究の実施を推進するため、中央市民病院に「臨床研究推進センター」を設置し、臨床研究を推進するための体制強化を図っています。

① 統合後施設名称：中央市民病院 井村記念南館

② 運用開始日：平成29年11月1日

③ 南館の主な機能・体制

1階 放射線治療

2階 受付・会計・生理検査・放射線検査・PET検査

3階 臨床検査・スタッフエリア

4階 臨床研究推進センター

5階 病棟

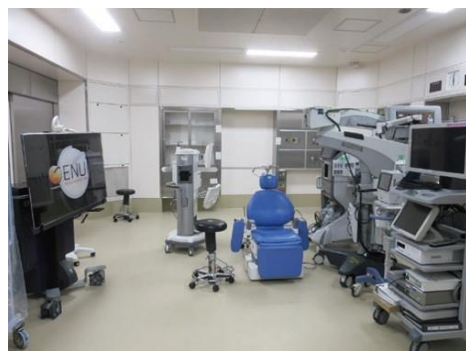
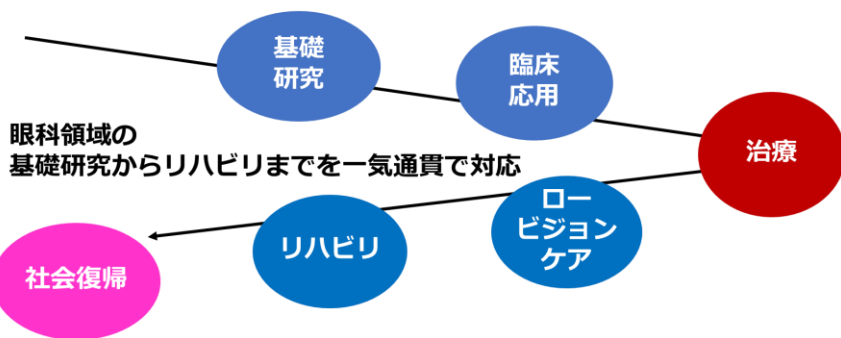


神戸アイセンター病院の開院について

- 中央市民病院及び先端医療センター病院の眼科機能を集約・拡充し、平成29年12月1日に開院しました。
- 高度専門医療の提供を継続するとともに、新たな高度医療機器を導入し、より安全で精度の高い最先端の手術等を実施しています。
- 眼の疾患に対して、基礎研究から臨床応用、治療、リハビリまで対応する眼のワンストップセンターを目指しています。

神戸アイセンター

基礎研究、臨床応用、治療、ロービジョンケアまで対応する
眼のワンストップセンター



白内障手術用フェムトセコンドレーザーを県下病院では初導入

